

■養成所ニュースプラス第 35 号 2025■

早いもので 3 学期も 2 か月目に入りました。皆さんの印刷教材学習・レポート作成の道のりも折り返し地点です。夏のスクーリングでもお伝えしたように、テキストを通読できる時間は来年の 7 月までです。社会福祉振興・試験センターの Web サイトでは、国家試験の出題基準が公表されています。「小項目」に挙げられているキーワードを確認しながらテキストに当たるのも、国家試験を意識した勉強になると思います。あわせて、先日送付しました「国家試験キーワードチェック 2」も活用してみましょう。

今回は、Plus Quiz は 1 回お休みして、37 期生の皆さんと 3 学期のレポート課題を確認していきます。

■Plus Quiz

今日は休載します。

■Yoseijo Info

- ・(36 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(37 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
- レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 38 回国家試験は、令和 8 年 2 月 1 日（日）です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1623263&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1623264&c=3246&d=99c7>

※申し込み受付期間は終了しています。

・本養成所では、受験対策講座の一環として「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」を web にて公開しています。

また、新たに保護観察官による「更生保護出張講座」を公開しました。

アクセスするための URL やパスワード等のお知らせは、養成所ニュースプラス第 6 号配信時に PDF データを添付しておりますので、確認のうえぜひ受講してください。

URL はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1623265&c=3246&d=99c7>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1623266&c=3246&d=99c7>
- ・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第 38 期生の出願を受け付けております。

現在、2 期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介くださいますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1623267&c=3246&d=99c7>

資料請求についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1623268&c=3246&d=99c7>

■Back Number · · · ·

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1623269&c=3246&d=99c7>

■Plus Column · · · ·

【レポート作成講座第6回／3学期レポート課題の確認】

2学期を終え、レポート作成にも慣れてきたことだと思います。ただ、悪い意味で「慣れ」てしまうことがないようにしたいものです。今までの科目担当講師の総評には、レポート作成に関する指摘が多くありました。例えば次のとおりです。

- ・テキスト等を引用しているのに「参考・引用文献」に記載がない。
- ・引用部分、参考部分のページ表記がない。
- ・インターネット資料の表記不備。(サイトの運営主体又は資料の作成者、情報のタイトル、サイトのURL、情報取得年月日が必要です。)
- ・事例が必要な課題であるのに、事例が書かれていない。
- ・です・ます体が混ざっている。
- ・意味のまとまりで段落を区切っていない。

このような指摘を回避するには、レポート提出前に、文章作法を意識して数回読み返し推敲することが必要です。皆さんも、上司への報告書や利用者さんやご家族への通知文は、読み手のことを考えて繰り返し内容を確認すると思います。レポートも評価者がいます。提出前に必ず点検してください。それでは、課題の確認を始めましょう。

「社会福祉の原理と政策2」では、「福祉政策におけるニーズとデマンドの違い」について自身の見解を述べることが求められています。テキスト等で関連用語を検索してレポート作成することとありますので、検索した結果を書き出してから「違い」を自分の言葉でまとめていきましょう。

「社会保障1」では、社会連帯の概念説明が求められています。救貧と防貧の違いや脱商品化や脱家族化等のキーワードがどのような意味を持つのか、ひとつひとつ当たることから始めてみましょう。また、社会保障のテキストだけでなく、共通科目4「社会福祉の原理と政策」の目次や索引も活用してください。

「地域福祉と包括的支援体制1」では、2つの課題から一つを選んで作成します。課題1では、社会福祉協議会が地域福祉活動の推進において、住民参加を重視する理由を述べます。そのときに必ず「理論的背景、意義、具体的背景」に触れなくてはいけません。課題2では、レポート作成のポイントとして、作成手順の指示があります。忘れてはならないのが、皆さんの身近な地域の具体的な市町村地域福祉計画を取り上げることです。取り上げた地域福祉計画のURLの記入も忘れないようにしましょう。

「障害者福祉」でも、2つの課題から1つを選んで作成します。課題1は、障害者総合支援法のサービスと介護保険法のサービスとの関連や障害児サービス等との関連についてまとめたうえで、その関連について自身の考えを述べることが求められています。課題2は、まず障害者権利条約と障害者基本法の関係についてまとめます。そのためには、2011(平成23)年の障害者基本法の改正に焦点を当てる必要があります。そして、自身の考えを述べます。条約の影響については法の序列の確認が必要です。テキスト9「権利擁護を支える法制度」53・54ページを参考にしてください。

「ソーシャルワークの理論と方法(専門)1」は、レポート作成のポイントが具体的に示されています。必要な要素をもれなくまとめることが重要です。例えば、4つの地域支援の特徴、2つの地域支援に必要な知識、地域支援のスキルとプロセスは網羅しなくてはなりません。さらに、テキスト学習を参考にして自身の考えをまとめます。事例を用いる場合は、簡潔にまとめることに留意してください。

「ソーシャルワーク演習(専門)2」では、自身がスーパービジョンを行うという視点を入れることが重要です。そのためには、スーパービジョンの定義や目的、意義、機能、関係、形態、実際について復習が必要です。共通科目テキスト12の第15章が該当します。演習科目的レポートは単に知識をまとめのではなく、経験した事例や想定した事例を用いて、いかに知識を実践的に理解するかという点が重要です。

駆け足で、3学期レポート課題の確認をしてきました。既に作成を終えた方も点検してみてください。繰り返しになり

ますが、作成したレポートは必ず数回読み返して推敲してください。特に「テキストをよく読んで」と示されている場合は、参考・引用文献の記載が必要な課題です。必ず記入してください。また、他の文献やインターネット資料についても、同様に記入が必要です。受講の手引 22~25 ページの例示に照らして記入してください。次回から年末までは、36 期生にむけて Plus Quiz を再開します。37 期生の皆さんも参考にしてください。

※科目名については、丸数字が文字化けするため算用数字で記載しています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus